

「日本再興」牽引する京都産業界



モノづくりを進化させ 新技術・新産業を創出

安倍政権が、日本経済の再生に向けて第3の矢、として放った「日本再興戦略—JAPAN is BACK—」。いまその具体的なプランが国会などで議論されているが、モノづくりを進化させ、新技術・新産業の創出を通してこの「日本再興」をいち早く牽引しようとしているのが京都産業界だ。

産学公連携による「オール京都、体制による「知恵産業のまち・京都」の推進が、第3ステージを迎えて集大成

の時期に入り「知恵産業群」によって今後の京都産業の持続的成長を可能にする基盤構築を目指す。その先にある「京都ビジョン2040」では、柱の一つにこの知恵産業のまちをベースにした「価値創造都市・京都」の実現が描かれている。

また、京都・大阪・奈良の3府県にまたがる関西文化学術研究都市（愛称：けいはんな学研都市）も「持続可能な社会のための科学の推進」を目標

に、「サード・ステージ・プラン」に基づき仕上げの時期を迎えている。目指すは「関西イノベーション国際戦略

総合特区」などによる新技術・新産業創出への取り組みで、その成果が期待されている。

Contents

■立石義雄・京都商工会議所会頭インタビュー	22面
■京都商工会議所「ニュー京商ビジョン」への取り組み	23面
■関西文化学術研究都市の進捗状況紹介	24面
■柏原康夫・関西文化学術研究都市推進機構 理事長インタビュー	25面
■武田一平・京都経営者協会会長インタビュー	26面
■京都企業最新情報（オムロン・ニチコン）	27面
■京都企業最新情報（大木工芸・サムコ・三洋化成工業）	28面
■京都企業最新情報（宝酒造・日東精工・ワコール）	29面
■京都企業最新情報（イシダ・星和電機・ローム）	30面
■京都企業最新情報（京セラ・京都銀行・日本新薬）	31面



医療、環境で成長期し

京セラ

京都オパールと漆のコラボ展開催

社会貢献活動の一環として本社ビルに開設している京セラ美術館（京都市伏見区）で、秋季特別展「京都オパールと漆・ふたつの出会いが生み出す「彩輝光。」を開催中だ。

京都オパールは、天然オパールと同一の石英粒子をもとに、同社独自の宝石合成技術によって生み出した装飾用素材。今回の秋季展では、この京都オパールを蒔絵の表面にちりばめた作品を中心に、宝石箱や椀などの漆工芸作品約50点を展示している。作品は、京都を拠点に活動する漆工芸作家の大町憲治氏が手がけた。磨き上げられた漆の色と、オパール独特の虹のような多様な色彩による遊色効果によって醸し出される輝きが、華やかな世界を演出している。

「彩輝光」は、古来から伝わる「螺鈿」の技法を用い、貝殻の代わりに京都オパールを装飾に使用した新技法で、2009年に大町氏が考案。螺鈿では表現しきれない多彩で華やかな輝きをもたらす。今回展示の工芸作品は京都の伝統工芸技術と同社の技術力の融合で誕生した。会期は12月8日まで。開館時間は午前10時～午後5時（12月2～8日は午後8時まで）。入場無料。

京都銀行

森に巣箱をかける活動などを実施

嵐山の研修所敷地内の「京銀ふるさとの森」（京都市西京区）、京都北部の本山国有林の一部の「京銀ふれあいの森」（同北区）で、小学生を対象に、野鳥に関する勉強会や手作りの巣箱をかける活動を行っている。

16日には「京銀ふるさとの森」で開催し、小学生とその保護者およそ50人が参加。日本野鳥の会京都支部による野鳥の勉強会と、小学生自作の巣箱のコンテストも行い、巣箱を木に結びつけた。30日には「京銀ふれあいの森」で同様の活動を実施する。来春のヒナが生まれる4～5月頃にはそれぞれの森で巣箱観察会を行う予定だ。

また「京銀ふれあいの森」ではこのほか、本山の間伐材を利用して椎茸栽培を行う「椎茸プロジェクト」に次いで、10月には、まつたけ再生に向けた「まつたけ夢プロジェクト」を立ち上げた。京都の森を府民や企業などと守り育てる京都モデルフォレスト協会の一斉活動期間「モデルフォレストDAY」のキックオフイベントに合わせてスタートさせたもので、学識者などの指導を受けながら、赤松の苗木植樹や腐葉土の除去作業などを行いまつたけの再生を目指す。

大木工芸

産学官連携で、炭素材の魅力追求

産学官連携を基盤に、炭素材が持つ魅力を追求、医療、環境、エネルギー、美容といった幅広い分野で「知産創造」を図っている。

炭素は全ての有機物に含まれ人間の活動と密接にかかわる。炭化の方法や使用する原材料により、遠赤外線放射をはじめ、高い熱伝導率、多孔質性など優れた機能を発揮する。同社のビジネスモデルは、この炭素材の応用に関するアイデアを創出、該当企業に製品化へのアプリケーションデータを提供してライセンスフィーを得るという開発特化型の経営を展開している。これまでに、炭素ネックレス、歯周病予防・改善温熱振動マッサージャー、美顔ローラー、カーボンウェブ・節電シート、多孔質活性炭などを開発、ヒット商品としてすでに市場をにぎわしている商品もある。

一方この開発ビジネスと合わせて来年1月からは、香川県さぬき市で「自前」の活性炭製造工場を建設、稼働させる。電気自動車用充放電バッテリーなどに使用される電気二重層キャパシタ型蓄電池向けの超多孔質活性炭や、PM2.5などの有害物質吸着材としての用途展開を目指す。




薄膜技術で世界の産業科学に貢献する

私たちは、環境負荷低減に寄与するグリーンデバイス分野で、最先端の半導体製造装置を世界中の生産現場や研究者の皆様に提供しています。

会期 2013年12月4日(水)～6日(金)
会場 幕張メッセ
ブース No. 3A-605 (HALL 3)
皆様のご来場をお待ちしております。

サムコ 株式会社 東証一部 証券コード 6387 www.samco.co.jp

本社 〒612-8443 京都市伏見区竹田富屋町36 TEL (075) 621-7841 FAX (075) 621-0936

国内拠点 京都・東京・東海・つくば・仙台・広島 海外拠点 中国・台湾・韓国・ベトナム・シンガポール・アメリカ・イギリス

**リサイクルPET原料から
高機能活性炭を製造!**

関西大学・(株)大木工芸 共同研究

**3,600m²/gの
高比表面積**

リサイクルPET



フレーク状に加工



高機能活性炭完成!





大容量&長寿命バッテリーの電気二重層キャパシタなどに利用

その他の活性炭の用途
高性能触媒、燃料電池の電極材、有害物質吸着剤など

炭素材の研究開発

OHGI 株式会社大木工芸

滋賀県大津市中野3丁目4番13号 TEL: 077-549-1309
E-mail: kyoto@ohki-techno.com
URL: http://www.ohki-techno.com/